

平成 22 年 8 月 2 日

各位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者 代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問い合わせ先 経営企画部長 鈴木 文彦  
電話番号 03-5730-2480

**HGF 遺伝子の新たな医薬特許が成立（米国）**  
－ パーキンソン病が対象 －

当社は、HGF 遺伝子によるパーキンソン病等の神経変性疾患を対象とする出願が米国において登録され、特許公報が発行されたことをお知らせします。(US7,763,591)

パーキンソン病は、中枢神経変性疾患の中ではアルツハイマー病に次いで多い疾患であり、米国では総数として約 100 万人、60 歳以上で約 1%、85 歳以上で約 4～5%の発症率と推定されており、我が国と比べ数倍以上の患者様がいらっしゃると思われています。従って決して希な疾患ではなく、身近な疾患であると言えます。

多くの場合は 50～60 歳代で発症し、振戦（ふるえ）、筋固縮、動作緩慢、姿勢反射障害（倒れやすい）などの典型的な症状が現れます。高齢者ほど罹患率が高まるため、高齢化社会に向け一層の増加も予想されています。しかしながら現時点では対症療法が中心であり、根本的な治療方法が求められておりました。

本発明は、HGF が有する神経細胞に対する成長促進作用／細胞死抑制作用などにに基づき、変性した神経細胞を修復し、機能を改善するパーキンソン病治療剤に関するものであり、根本的な治療を可能にするものと期待されます。

なお海外の発症率もほぼ同レベルであると考えられていることから、本発明は日本および豪州で特許登録済みであり、欧州、カナダなどにも出願中であります。

当社は、HGF 遺伝子を中心に据えた総合戦略に基づき、現在開発中の末梢動脈閉塞症プロジェクトに続く、HGF 遺伝子の新たな適応疾患に対する特許権利化も積極的に進めてまいります。

なお、本件による本年度業績への影響はありません。

以上